

2008年 年頭記者会見

シャープ株式会社

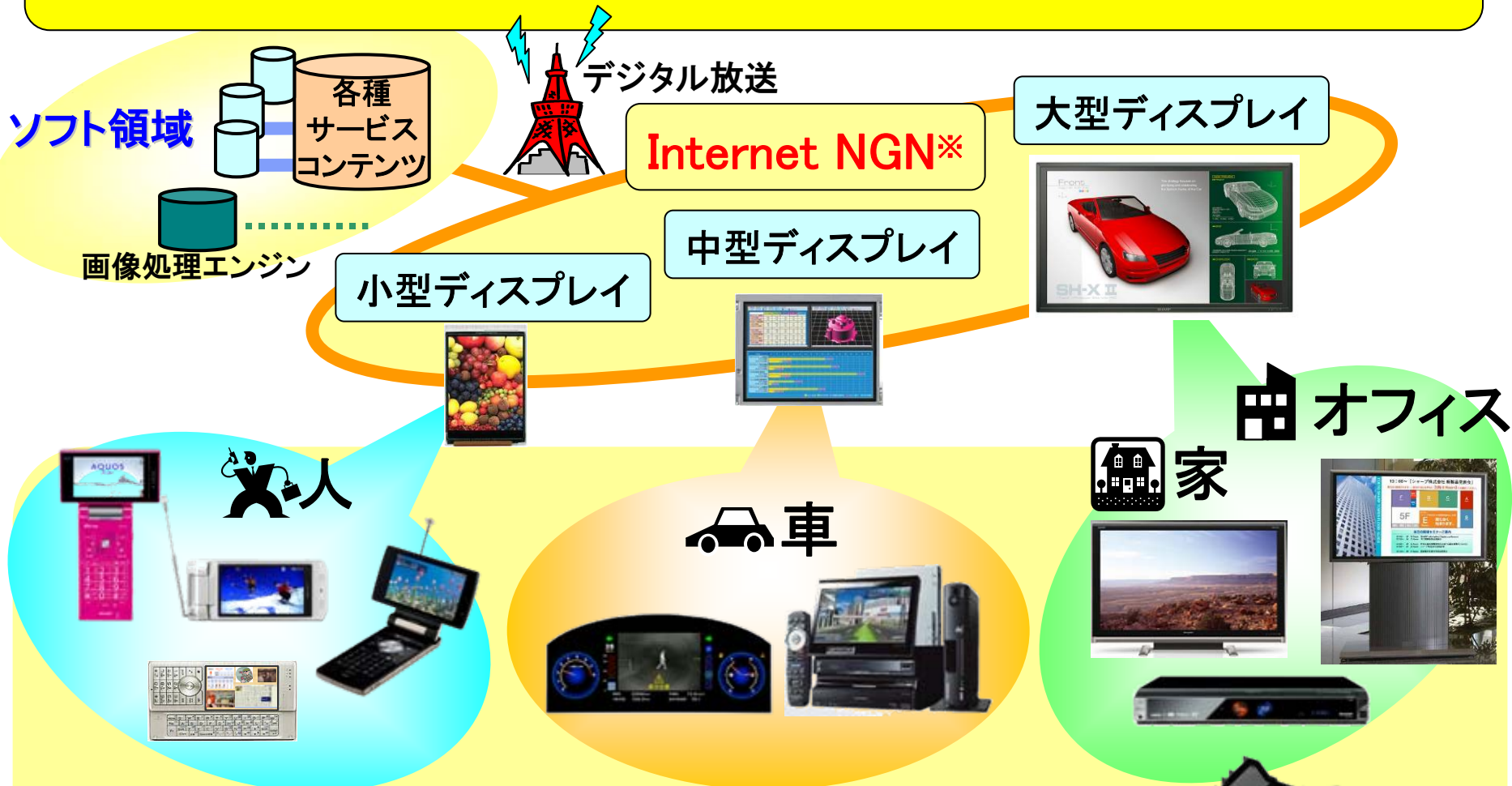
取締役社長

片山幹雄

2008年1月8日

I . 2012年「創業100周年」に向けて

世界No.1の液晶ディスプレイで真のユビキタス社会を実現する



ユビキタス商品を支える
当社デバイス群



省エネ・創エネ機器を核とした環境・健康事業で世界に貢献する

太陽電池による創エネ



省エネ機器の創出



健康機器の創出

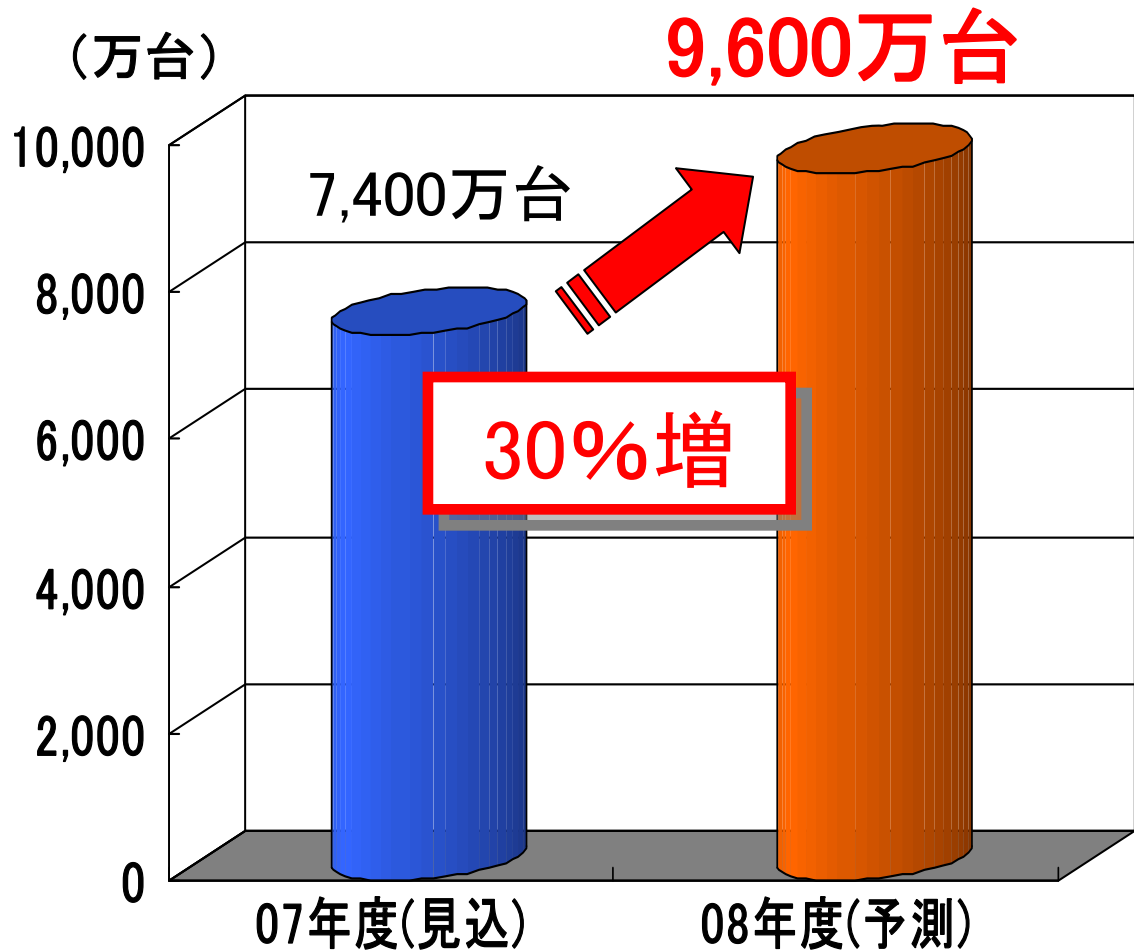


Ⅱ. 2008年度重点事業取り組み

1. 液晶テレビと大型液晶パネル事業



AQUOS



$$\frac{\text{液晶テレビ: 9,600万台}}{\text{テレビ全体: 2億2,000万台}} = \text{約45\%}$$

2008年度は約半数が液晶テレビ



65V型(試作機)

- 厚み: 20mm(ディスプレイ部) ● コントラスト: 100,000:1
- 35mm(最厚部)
- 額縁: 25mm(上) ● 年間消費電力量: 200kWh/年
- 25mm(左右)

52V型(試作機)

- 厚み: 20mm(ディスプレイ部) ● コントラスト: 100,000:1
- 29mm(最厚部)
- 額縁: 20mm(上) ● 年間消費電力量: 140kWh/年
- 25mm(左右)

現在、全世界で使われている

ブラウン管テレビ = 約12億2,000万台

新技术を採用した液晶テレビにすべて置き換える

1,000億kWh/年の消費電力量を削減

1,000億kWhとは

火力発電所：14ヶ所の年間発電量に相当

重油：約2,200万klに相当（ドラム缶：1億本分）

CO₂量：約3,400万tに相当



杉の木：24億本が1年間に吸収するCO₂量



森林面積：10万km²に相当

最高峰の美しさを目指してー。

画質、音質、デザイン、環境性能のすべてを徹底的に追求。



AQUOS

亀山第2工場の拡充

第1期展開
(06年8月)

15,000枚／月

第2期展開
(07年1月)

30,000枚／月

第3期展開
(07年7月)

60,000枚／月

1.5倍

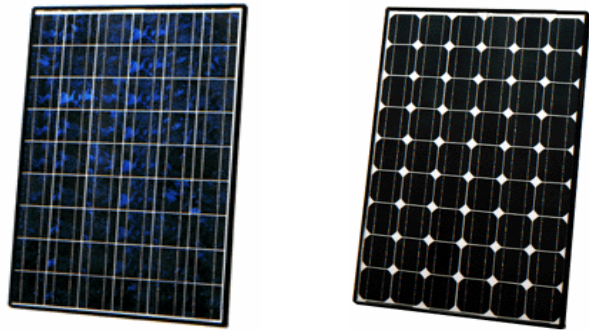
08年7月(予定)

90,000枚／月

2. 太陽電池事業



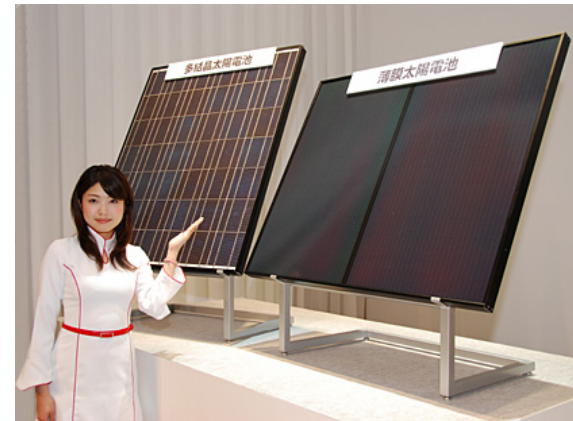
結晶系太陽電池



・原材料の確保

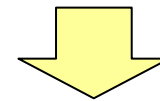
- ・シリコンの自製化
(07年秋より本格化)
- ・外部からの安定調達

薄膜太陽電池



・葛城工場の生産能力拡充

現在 15MW/年



2008年10月(予定) **160MW/年**

薄膜太陽電池のメリット

- ・原材料(シリコン)使用量の大幅削減
〔 使用量:結晶系太陽電池の約100分の1 〕
- ・シンプルな構造と生産工程

量産効果によるさらなるコストダウン

2010年の発電コスト目標:
23円/kWh*

(一般家庭用の電力料金と同等)



日本の一戸建て住宅 約2,650万戸

すべての屋根に太陽電池を設置することで

約3,600万t/年のCO₂削減

杉の木：25億本が1年間に吸収するCO₂量

森林面積：10万8千km²に相当

(北海道と四国を足した面積)

無電化地域の総人口 約16億人

すべての人々が電気を使う生活をするには

1,600TWh^{*}/年の電力量が必要
(火力発電所: 約230ヶ所の年間発電量)

ゴビ砂漠のわずか1/100の面積に
太陽電池を設置するだけで供給可能
(CO₂量: 約5億t/年の発生を抑制)



Ⅲ. 堺市「21世紀型コンビナート」

進出企業 14社が決定







生産品目：薄膜太陽電池

稼動開始：2010年3月まで

生産規模：1,000MW/年を予定



- 亀山工場を凌ぐ環境性能
- 優れた環境配慮型製品の創出



SHARP